

# せいがん 青眼

62号

松浦正人 活動報告誌 / 発行日・平成30年(2018年)1月10日 発行人・松浦正人後援会、松浦正人を支える会

4月8日  
森山公園にて

## お陰さまで政治活動38年 市長在職20年

### ふるさと防府で働きつづけて50年

冒頭、私事にて恐縮ですが、私は昭和17年9月10日生を受け、昨年9月10日満75才を迎えました。

37才で政治活動に入り(38才2ヶ月市議当選)一何と今日までの人生の半分以上を地方自治の中で生かしていただき働いてまいりました。

大学卒業後2年半東京で実社会修業、25才(昭和42年9月20日、あの右田・西目山大火災が鎮火した朝)、特急あさかぜで駅名が三田尻駅から変更した防府駅に帰り、ちょうど50年になります。

防府市議一期、山口県議三期、市長五期の地方自治と政治活動において多くの方々から数々のご教導とご支援をいただき有難く御礼申し上げます。

この50年、防府で働き、3人の子供達を育て、今では孫10人(0才~13才)すべて防府市民。生きていれば122才になる父、111才になる母、そして重度障害の身ながら72才まで生きてくれた姉も泉下より支えてくれていることでしょう。

### 第二十九代全国市長会会長に就任

### 基礎自治体の声を届けます

全国市長会は、791市と東京特別区23区の、計814市区で編成されており、日本の総人口の約93%を占める規模となっております。昨年の青眼61号でもご報告致しましたとおり、一昨年9月より実質会長職を務めておりますが、昨年6月、民選市長で29代目となる会長に選任されました。山口県では初めてのことで。

内外の諸課題が山積する中、リーダーシップを発揮していただいている安倍晋三総理を支え、懸命に働く全国の仲間達と力を合わせて基礎自治体の声を政府に届け、地方創成の実をあげてまいる覚悟です。



6月7日、全国市長会会長就任挨拶

### 松浦正人のプロフィール

- 昭和17年9月10日、父藤一郎、母とみの次男として中華民国江西省九江市に誕生。
- 松崎小、山大付属中、防府高校を経て昭和40年早稲田大学卒業
- 直ちに(株)緑屋入社。25歳、昭和42年9月帰郷、家業従事(帰郷50年)
- 38歳、昭和55年11月…防府市議会議員(1期)
- 44歳、昭和62年4月…山口県議会議員(3期)、自民党県連政調会長等歴任
- 55歳、平成10年6月…防府市長(5期目)、全国市長会会長
- ◎教育再生首長会議会長・榑門市長会代表幹事・全国市長会地方創生担当副会長  
全国市長会まち・ひと・しごと創生対策特別委員会委員長等歴任

**信条** 気付き即行・感恩報酬・現実大肯定

**趣味** 読書 / 上廣榮治先生・安岡正篤先生ご著書、月刊誌「致知」

**家族** スポーツ / 山歩き・野球・ゴルフ・プール歩き  
妻・長男・長男妻・孫3人(同居)  
次男・次男妻・孫5人(市内在住)  
長女市内に嫁して孫2人。孫10人すべて市内在住。



三世代  
4家族18名  
0才~13才(中1)

### 後援会報誌 青眼について

#### お約束の実践

“青眼”とは青眼→白眼の故事が語源で、複雑な“政治”の世界で多くの人々に出逢う中で、青く澄んだ瞳——青眼で人と接し、世の中をみつめ、クリーンな姿勢で働くよう…との祈りをこめて名付けられたのです。今日まで37年間、計約160万部発行しております。この活動が評価され平成20年(2008年)マニフェスト大賞ノミネート賞を受賞しました。

160万部突破! おかげさまで62号